

InvestHK

2024-25年度 政府予算案 企業支援と質の高い発展を目指す

2024年2月28日、陳茂波（ポール・チャン）財政長官は、香港特別行政区政府の2024-25年度の予算案を発表しました。陳財政長官は、香港の前年度の経済成長は3.2%、2024年度はさらに拡大し、実質成長率は通年で2.5%から3.5%になるとの見通しを示しました。

この1年で、香港はコロナ禍を経て再び国際舞台に戻ってきました。今年度予算案では財政長官は、企業を支援し、質の高い発展を加速させ、香港の産業競争力を高めるための様々な措置を概説しました。

香港の経済成長の重要な要素の1つは、より多くの企業、資本、人材を誘致することです。この実現に向け、インベスト香港は、香港を対内海外直接投資（FDI）の優れた投資先としてだけでなく、香港の「本部経済（Headquarters Economy）」も促進し、域外企業の香港での統括拠点や管理部門設立を促進します。また、アジア太平洋地域に事業の重点を置く企業の香港への再移転を誘致します。

さらに、高付加価値のテクノロジー産業や企業を誘致し、香港で足がかりを築いて事業展開できるよう支援する取り組みを強化します。香港の重要政策分野はファミリーオフィス、フィンテック、金融サービス、技術革新・科学技術です。香港のグリーン成長と2050年までにカーボンニュートラルを達成するという目標に対する強い決意に基づき、より多くの商機を創出し、優秀な人材の誘致と確保をする取り組みを強化してまいります。

香港経済を支え、質の高い発展を加速させる主な取り組みには、以下のようなものがあります。

グリーンな未来

グリーンファイナンス

- 企業・金融機関のサステナビリティ報告書作成やデータ分析を支援
- 「グリーンで持続可能な金融助成計画」：2027年まで延長
- 「グリーンで持続可能なフィンテック概念実証助成計画」：2024年上半期に開始予定

グリーンな海運

- 脱炭素化の国際基準で高い評価を獲得した香港籍船舶に対する優遇措置に 6,500 万香港ドルを割り当て
- 内外航船向けのグリーンメタノール燃料のバンカリングについての研究

グリーンな航空

- 香港における SAF（持続可能な航空燃料）の利用促進
- 電気自動車：電気自動車の初回登録税（FRT）優遇措置を 40%減額の上、2026 年 3 月まで延長

技術革新・科学技術

- AI スーパーコンピューターセンター：第 1 期施設は早ければ 2024 年に稼動。地元の大学、研究開発機関、企業がセンターの計算能力を活用できるよう支援するために 30 億香港ドルを割り当て
- 2024 年に「香港マイクロエレクトロニクス研究開発院」を設立し、第 3 世代半導体に関する研究協力を促進
- 2024 年から「新型工業加速計画」を開始し、同額拠出形式で企業に最大 2 億香港ドルを提供

金融

- ファミリーオフィスファンド等に対する優遇税制を強化
- 金融サービスの持続可能な発展促進に 1 億香港ドルを割り当て
- ブロック取引の導入、南行きストックコネクトの人民元カウンターの開設、不動産投資信託（REIT）への相互アクセス制度の拡大を推進
- 700 億ドルの個人向け債券を発行：
 - シルバー債：500 億香港ドルの
 - グリーンボンドおよびインフラ債：200 億ドル

中小企業支援

- 中小企業融資保証計画：80%・90%保証商品の申請期間を 2026 年 3 月末まで延長
- BUD 基金（ブランド構築、アップグレード、域内販売に関する専用基金）：「簡単 e コマース（E-commerce Easy）」の立ち上げを含め、5 億香港ドルを注入。中国本土で電子商取引プロジェクトを実施する企業に、1 社あたり最大 100 万香港ドルを給付
- デジタル変革支援試験計画：2024 年の早い時期から飲食・小売業界の中小企業にすぐに使えるソリューションの選択を呼びかけ

貿易

- 国境を越えたサプライチェーンマネジメントセンター：
 - 中国本土の製造業企業が香港にオフショア貿易管理本部を設置するよう誘致
 - コンサルティングサービス、貿易金融、企業研修の提供
 - 企業向けにワンストップサービスを提供する単一窓口の設置を検討

海運

- 海運業に対する税制優遇措置の強化を研究
- 船舶の一括登録への優遇措置を設け、香港での船舶登録を促進

航空

- 「空のシルクロード（Air Silk Road）」を支援するため、現在の主要路線と「一帯一路」沿いの路線で航空サービスを強化



法律・紛争解決サービス

- 「国際調停機構」の本部を香港に設置予定
- 香港の法律・紛争解決サービスを中国本土、中東、ASEAN 加盟国で引き続き促進

国際文化交流

- 「映画発展基金」に 14 億香港ドルを注入。「クリエイトスマート計画」に 29 億香港ドルを注入
- 2024 年以降、香港ファッションデザインウィークを毎年開催
- 2024 年前半に「重点舞台芸術プロジェクト計画」の主要な取り決めを定め、大規模な舞台芸術作品の長期公演を支援

詳細は、budget.gov.hk をご覧ください。



国際イベント・スケジュール

4月9日～10日 香港

PI Apparel Hong Kong 2024

本イベントは、製品づくり、サプライチェーン、生産、サステナビリティを1つにつなぐ催しです。アパレル・フットウェア業界のリーダーが一堂に会し、アジア太平洋地域のファッション業界を大きく変革する課題やトレンドについて議論します。

場所: Kowloon Shangri-La, Hong Kong

主催: MarketKey Ltd

▪ apparel.pi.tv/events/75

4月18日 香港

Creative Collision 2024

本イベントは、企業、団体・協会、公共セクター、社会起業のリーダーを対象としたインタラクティブな「非会議型」イベントです。過去4回の成功を踏まえ、利益を上げながら社会的課題を解決するというチャレンジに挑みます。

場所: Dream Impact, Lai Chi Kok, Hong Kong

主催: Shared Value Initiative Hong Kong

▪ sharedvaluehk.org/event/creative-collision-2024/

4月26日 香港

Elevator Pitch Competition 2024 Grand Finale

本イベントは、香港最大のイノベーションエコシステムの幅広いネットワークとオーダーメイドのサポートを活用し、世界のスタートアップがアジアに進出できるよう企画されたユニークで世界的なピッチコンテストです。

場所: sky100 Hong Kong Observation Deck, Hong Kong

主催: Hong Kong Science and Technology Parks Corporation

▪ <https://epic.hkstp.org/>

5月7日～9日 香港

ISTAT Asia Conference

本会議は、航空業界の専門家が一堂に会し、航空機産業と金融業界の最新動向について議論する絶好の機会です。

場所: Grand Hyatt Hong Kong

主催: ISTAT

▪ connect.istat.org/Asia

5月15日～16日 東京

SusHi Tech Tokyo 2024

世界共通の都市課題解決に向けた国内外スタートアップエコシステムとの"まだ見ぬ出会い"を創出するアジア最大規模・日本で唯一のグローバルイノベーションカンファレンスです。香港経済貿易代表部、インベスト香港、香港サイエンスパーク、香港のスタートアップ企業20社による「香港パビリオン」が設置されます。

場所: 東京ビッグサイト

主催: SusHi Tech Tokyo 2024 グローバルスタートアッププログラム実行委員会、東京都

▪ sushi-tech-tokyo2024.metro.tokyo.lg.jp



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

5月16日 東京

香港：スタートアップと企業のための活気あるテクノロジーハブ
パネルディスカッションとネットワーキング昼食会(参加費無料)

本パネルディスカッションでは、香港のテクノロジー系スタートアップ企業、投資家、インキュベーターや政府機関関係者を迎え、いかに香港のフレンドリーなビジネス環境の利点を活用し、香港でビジネスを急速に成長させるかについて、各パネリストの経験や知見を皆様と共有します。

場所： 有明セントラルタワーホール&カンファレンス 3階 レセプションルーム 1 東京

主催： InvestHK, Hong Kong Science and Technology Parks Corporation

▪ investhk.gov.hk/en/events/

6月12日 大阪

海外ビジネス EXPO 2024

海外ビジネスをテーマにした日本最大級の展示会です。東京、大阪、福岡、北海道で毎年開催されています。インベスト香港もブースを出展します。

場所： OMM 展示ホール 大阪

主催： 海外ビジネス EXPO 実行委員会

▪ digima-japan.com/expo/osaka2024/

最新イベント情報は、investhk.gov.hk をご覧ください。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

特集：

新たな資本投資者入境計画、開始初日から申請が相次ぎ、富裕層の香港への強い関心と信頼を反映

新しい資本投資者入境計画（Capital Investment Entrance Scheme、以下「新計画」）の申請受付が3月1日から開始します。新計画は、資産家が香港に定住し、資産の配分と管理を通じて多様な投資機会を開拓するよう誘致するものです。申請するには、適格投資資産として少なくとも3,000万香港ドルを投資する必要があります。申請者は、扶養家族（配偶者および18歳未満の未婚の被扶養児童を含む）を香港に帯同することができます。滞在許可は通常2年間です。2年間の滞在期間満了後、3年間の滞在延長を申請でき、その後は3年間の期間満了ごとに滞在延長を申請できます。通常、7年以上継続して香港に居住している場合、法律に従って香港永住権を申請できます。

香港投資推進局（インベスト香港）は、申請書が新計画の財務要件を満たしているかどうかの審査を担当し、入境管理局が、ビザ・入境許可証の申請や滞在延長などを審査します。

劉凱旋（アルファ・ラウ）局長は、新計画は人材と資本のハブとしての香港の主導的地位を確固たるものとし、国際金融センターとしての香港の地位を高めると述べました。香港政府は資産管理・運用のハブである香港の競争力をさらに強化する施策を継続的に導入しており、新計画の魅力は一層増していくでしょう。

新計画の受付開始初日、インベスト香港は窓口、ホットライン、オンラインなど様々なチャネルから100件を超える問い合わせを受けました。そのうち約70%は専門サービス業者によるものでした。劉局長によると、新計画は初日から大きな関心を集め、同局はその日のうちに申請を受け付けたと言います。これは、富裕層が香港の安定したビジネス環境に信頼を寄せていることの現れです。香港の多様な投資チャネルに惹かれ、家族とともに香港で定住することを望んでいると言えます。

インベスト香港は今後も、様々な事業団体、国際的なステークホルダー、ファミリーオフィスに対し、新計画の普及に努めます。また、サービスプロバイダーや申請予定者と緊密に連携し、問い合わせに対応してこの計画内容の理解を促していきます。

詳しくは下記をご覧ください。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

注目分野：

創造性にとってのオアシス

香港は、その活気あるアート・エコシステムと、創造性、文化交流への政府の強力な支援に後押しされ、世界の芸術拠点として輝いています

香港は、アート経済を積極的に推進し、新世代の地元アーティストを育成する政府の様々な取り組みを通じ、活気ある文化エコシステムを培ってきました。現在、全力の取り組みにより、香港は世界的な芸術都市として新たな高みに達しています。2023年度の政府予算のうち、芸術文化・クリエイティブ産業の振興に対して約68億香港ドルが割り当てられました。さらに、東洋と西洋が融合した国際文化交流の中心地として香港をより発展させるための「芸術文化・クリエイティブ産業発展の青写真（Blueprint for Arts and Culture and Creative Industries Development）」を公布・実施する予定です。

美術品取引の肥沃な土壌

香港は世界でもトップ3に入るアート市場であり、世界中の裕福なアートコレクターを惹きつけると同時に、アーティストにキャリアアップの機会を数多くもたらしています。香港のダイナミックなアートシーンは、美術品取引が非課税であること、世界水準のアートギャラリーやオークションハウスがあることが相まって、美術品の売買に理想的な環境を作り出しています。さらに、中国本土に隣接する香港は、中国本土のアートコレクターにとってのゲートウェイとしての地位を確立し、多くの本土のアートコレクターが世界中の多様な作品に触れるために香港にやってきます。香港の美術品取引の活気あるハブとしての地位はさらに強固なものになっています。

最先端の施設

洗練されたアート市場に加え、近年は新しいアート施設が次々と誕生しています。ハーバーフロント沿いに40ヘクタールにわたって広がる西九龍文化地区は、世界最大級の文化ハブです。この広大な地区には、戯曲センター、M+、香港故宮文化博物館といった重要な施設があり、年間を通じて多様な芸術文化プログラムを提供しています。また、新設された東九龍文化センターは、アートとテクノロジーの融合を核として、想像力とイノベーションを醸成するエコシステムを育んでいます。

アートイベントの中心地

香港の活気に満ちた文化シーンは、年間を通して様々なアートハブニング（芸術イベント）で賑わっています。3月の「香港アート月間」だけでも、アート・バーゼル、Art@Harbour、国際的に有名なポップカルチャーの祭典ComplexConのアジア・プレミアなど、著名な展覧会を含む、エキサイティングな芸術・文化イベントが多数開催されます。香港政府は最近、国際的かつ大規模な芸術・文化イベントを香港に誘致し支援することを目的とした「芸術文化メガイベント基金（Mega Arts and Cultural Events Fund）」を設立しました。香港は今後も、世界中の美術愛好家、アーティスト、パフォーマーにとって、アートイベントのダイナミックなハブを提供する場としての地位を強化していくでしょう。



アートテックのパイオニア

香港はアートテクノロジー（ArtTech）の最前線にあり、革新的なテクノロジーを取り入れてアートシーンに革命を起こしています。香港は、バーチャルリアリティ、拡張現実、非代替性トークン（NFT）、メタバースなど、芸術における最先端技術の開発と導入を進めています。これに関連して、政府は文化的ソフトパワーを高める各種プログラムを実施しています。特筆すべきは、9つの主要な舞台芸術団体が創作活動にアートテックを応用することを奨励するために導入された「アートテクノロジー補助金パイロット計画（Arts Technology Funding Pilot Scheme）」です。政府の支援により、香港はアートテクノロジーのパイオニアとなり、芸術表現の限界を押し広げています。

活気ある文化エコシステムの構築とアーティストの育成を目指す政府の戦略的計画により、香港は芸術の未来を切り開き、クリエイティブな領域における世界的リーダーとしての地位を揺るぎないものにしていくでしょう。

香港におけるクリエイティブ産業のビジネスチャンスについては、こちらまでお問い合わせください：

ドリス・フォン (Doris Fong)
クリエイティブ産業部 部長
✉ dfong@investhk.gov.hk
☎ (852) 3107 1011

香港アート月間の代表的なイベントハイライトはこちらをご覧ください。



注目分野：

金融メガイベントウィーク

3月末に開催された金融メガイベントウィーク (Financial Mega Event Week) では、世界中から金融界のリーダーが集結し、香港の金融業界の発展を促進し、世界的な金融センターとしての香港の地位の強化を目指す3つの大規模イベントが催されました。注目のイベントのひとつは、金融財務省がインベスト香港と共催した第2回「Wealth for Good in Hong Kong Summit」 (WGHK) です。「不確実性の中での確実な成長」をテーマとしたこのサミットには、香港、中国本土、アジア、欧州、北米・南米、中東など世界各地のファミリーオフィスとその専門チームから影響力のある意思決定者が400名以上参加しました。

今年のWGHKでは、「ラグジュアリーと継承」、「グリーンテクノロジー」、「慈善活動と富の継承」、そしてファミリーオフィスの発展に関するセッション「世代を超えた富の創造と経験の共有」という4つ主要トピックが取り上げられました。また、「ハリウッドからシリコンバレーに亘る経験の共有」と「投資としてのスポーツの台頭」をテーマに2つのファイヤーサイド・チャット (トークイベント) も行われ、ファミリーオフィスの新たな投資について、参加者にこれまでにない視点を提供しました。

WGHKの晩餐会において、香港政府は香港財富伝承学院 (the Hong Kong Academy for Wealth Legacy) による新たな慈善活動イニシアチブ「インパクトリンク」 (iLink) の立ち上げを発表しました。その目的は、高い実績と香港内外の喫緊の課題を解決するための発展が見込める潜在力と社会的インパクトの大きい慈善事業を誘致、選定、紹介することです。iLinkはまず、世界の公衆衛生、初期生命科学研究、貧困削減と開発、教育、青少年育成、さらにはAI、バイオテクノロジー、ビッグデータ、グリーンテクノロジーなどの最先端技術を活用した幸福な地域社会づくりなど、重要分野から取り組みます。慈善事業の情報の橋渡しやステークホルダー同士のコネクションづくりといったiLinkの強みを活かして、ファミリーオフィスやアセットオーナーは、質の高い事業に容易にアクセスでき、更なる精査により十分な情報に基づく投資判断をすることができるので、よりインパクトの大きな慈善寄付につながります。

iLinkは、世界的なファミリーオフィスのハブである香港に相応しく、香港、中国本土や海外に有益な慈善活動の展開拠点として資産家に貢献します。ファミリーオフィスは、その資産の継承、移転、社会的利益を計画的に実行することにより、慈善活動との結びつきはますます強まっています。iLinkの活動は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、フランス・アジア財団や、香港ジョッキークラブが設立した公益慈善研究所、さらにYidan Prize財団など、著名な団体からの支援を受けています。

同イベントウィークでは、ミルケン研究所が主催するグローバル投資家シンポジウムや、サステナビリティ&テクノロジー研究所と世界経済フォーラムのGiving to Amplify Earth Actionが共催したOne Earthサミットも開かれ、数々のエキサイティングなイベントを通じて、香港のユニークな強み、大きな発展の可能性、そして国際金融センターとして香港がもたらす豊富な投資機会を見事にアピールしました。

連絡先：

ジェイソン・フォン (Jason Fong)
ファミリーオフィス部 グローバル責任者
✉ jasonfong@investhk.gov.hk ☎ (852) 3107 1085

詳しくは下記をご覧ください。



中華人民共和國香港特別行政區政府

InvestHK 投資推進局

香港の持続可能なハイファッション

ブランド品リユース大手のコメ兵ホールディングスにとって、香港はアジア域内そしてその先にあるグローバル市場での成長を促進する理想的な場所

“自由貿易港であり、低税率、アジアの中心に位置する戦略的立地等香港特有の優位性は、地域の他の市場を開拓するのに適しています”

株式会社コメ兵ホールディングス
取締役執行役員
山内祐也氏



香港は世界でも有数の買い物天国として高い評価を得ており、世界中から何百万人もの観光客や買い物客を引き付けています。街には様々な高級ブランドが軒を連ね、ブランド品リユースを手がけるコメ兵ホールディングスの事業拡大を後押ししています。2013年に初の海外拠点として進出して以来、同社は香港で操業を続けています。「Relay-Use (リレーユース)」という持続可能なバリューチェーンの推進に強くコミットしているコメ兵ホールディングスは、リサイクルと環境に優しいアプローチを重視しています。香港の消費者の間で責任ある持続可能な買い物の選択肢を求める声が高まっていることを受け、同社は今般、現地でのプレゼンス拡大と、香港拠点をアジア地域本部とする計画を発表しました。

活況を呈するラグジュアリーリテール市場

高品質なブランド品に目がなく、かつ持続可能性や循環型社会への関心を高めている富裕層や目の肥えた消費者が多く住む香港は、ブランド品リユース市場で事業を展開する企業にとって理想的な場所です。実際、コメ兵ホールディングスが2019年に買収した中古ブランド品販売チェーン「ブランドオフ」はすでに香港の消費者に受け入れられており、同店の新店舗は香港全土で続々とオープンしています。

「弊社は非常に多くの種類の商品を扱っており、市場の需要やトレンドは目まぐるしく変化します。弊社の香港での事業は確立されており、また商品の輸出入が容易なため、香港をはじめアジア各国の需要動向を把握しながら、迅速に商品供給と販売を行うことが出来ると考えています」と、株式会社コメ兵ホールディングス 取締役執行役員 山内祐也氏は語ります。

ブランドの拡大

同社は現在、香港で小売部門・販促部門、EC部門、B2B部門、管理部門など様々な職務に携わる80人以上のスタッフを雇用しています。「香港には、多言語を操り、グローバルな視野を持ち、労働倫理の高い人材が豊富にいます」と山内氏は述べ、同社のような外資系企業にとって、このような多様な人材プールは特に貴重であると付け加えました。香港に地域統括本部の設立を機に、同社は成長を続ける事業を支えるための更なる従業員の採用を予定しています。

「弊社は短期的にはアジア太平洋地域で買取を強化しながら、更に小売店舗のオープンを計画すると同時に、香港拠点からの投資をテコに長期的には欧米も含めたグローバル市場への拡大を目指しています」と山内氏は語りました。

「自由貿易港であり、低税率、アジアの中心に位置する戦略的立地など香港特有の優位性は、地域の他の市場を開拓するのに適しています。この度、新設する地域統括本部は、弊社のアジアとその先にあるグローバル市場への事業拡大に向けた戦略的取り組みにおけるマイルストーンであり、香港の優位性を最大限に活用することで、更なる成長を遂げたいと思います」

株式会社コメ兵ホールディングス

- 1947年に日本で創業したコメ兵商店を起源とするコメ兵ホールディングスは、主にデザイナーズ・バッグ、宝飾品、時計などの中古ブランド品の買取・販売を行う
- 日本以外では、香港、中国本土、台湾、タイ、シンガポールで事業を展開



komehyohds.com

インベスト香港顧客紹介

■日本

INOVAI TECH 株式会社（本社：東京）は、人工知能（AI）とデジタル資産のプレインキュベーションを専門とし、AI コンピューティング・ソリューション、革新的技術、グローバル市場への投資機会を提供しています。同社は、AI に特化した企業に最先端のコンピューティング・サービスを提供するため、強力で柔軟な AI 駆動型クラウド・コンピューティング・プラットフォームの構築を目指しています。また、リソース配分の最適化の包括的サポートなど大規模言語モデル（LLM）をトレーニングするためのあらゆる技術ソリューションを提供しています。日本と香港のチームが共同開発した大規模な AI 搭載 Web3 リソース・ライブラリーも構築しています。

情報通信技術

inovai.tech

ウィリアム・ケイン・ムカイ（William Kayne Mukai）氏が設立した **WKM Gallery** は、香港にあるダイナミックで革新的なアートスペースです。フランスと日本にルーツを持つユニークな経歴のムカイ氏は、文化の架け橋となって世界中の才能あるアーティストに活躍の場を提供しています。このギャラリーは、新進アーティストと著名なアーティストの創造性と文化交流を育むプラットフォームとなっています。同氏はアーティストの限界を広げ、創造性を刺激し、世界のアートコミュニティを豊かにする類まれな展示会を監修しています。

アートギャラリー

wkm.gallery

